

2025年11月26日、多摩川河川敷でひときわ目立つ川崎市立川崎総合科学高校の高層校舎最上階で、同校科学科2年生38名と川崎市立川崎高校福祉科3年生26名による「介護負担」をテーマとした合同ワークショップを行いました。福祉科の生徒たちは全員、介護福祉士の資格を取得すべく介護実習の経験を積んでおり、その現場で感じた様々な課題が次々として出てきます。科学科の生徒たちにとっては初めて聞くことばかりで、そのリアルさと深刻さに共感し、離れて暮らす祖父母のことや自身の将来について真剣にしばらく考えこんでいましたが、少し経つと、解決に繋がるかもしれないアイデアが出始めました。それに対して福祉科の生徒たちが現場の目線でコメントし自然と議論が深まります。約1時間強にわたり討論に集中した生徒たちは心地よい達成感を感じたそうです。その後行われた発表会も大変盛会となりました。

今年3月に開催されるCHANGEシンポジウムでは、第2部で両校生徒の代表4名が登壇し、この合同WSを振り返ります。さらに第3部では、医療に役立つモノづくりを考える東大の学生サークル MeDCraft の代表や洗足学園高校の生徒も登壇して、ナースিংエンジニアリングという新しい領域の工学についてパネルディスカッションを行います。

詳細は右のプログラムをご参照ください。



<お問合せ先>

公益財団法人 川崎市産業振興財団

ナノ医療イノベーションセンター

TEL : 044-589-5700

iCONM

検索

●第4回 CHANGEシンポジウム●

●日時／2026年3月5日 13:30～17:10

●会場／川崎市産業振興会館 1階ホール

●プログラム

第1部 講演 「工学と看護のチカラで変わる未来のケア」

基調講演	Prof. Sei Kwang Hahn / 韓国・浦項工科大学 (POSTECH)
講演 1	堀田 彰恵 氏 / 川崎市看護協会・会長
講演 2	松元 亮 氏 / 研究開発課題1 リーダー (東京科学大学教授)

第2部 FOB (Future Opinion Board) セッション 「高校生が描くケアの未来」

高校生	阿部 直人さん・岩崎 満心美さん (市立川崎高校福祉科3年)
	井上 亜夢さん・野地 虹太郎さん (市立川崎総合科学高校科学科2年)
モデレーター	神田 循大 / 研究開発課題3 サブリーダー (iCONM特任研究員)

第3部 パネルディスカッション 「語り合おう、未来のケア」

パネリスト	Prof. Sei Kwang Hahn (基調講演者)
	仲上 豪二郎 氏 / 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学教授
	白崎 功 氏 / シニアコーディネーター (リリアム大塚 会長)
	秋池 小夜子さん / 東京大学大学院修士課程1年学生サークル MeDCraft 所属
モデレーター	大石 和葉さん・松原 光希さん (私立洗足学園高校2年)
	島崎 真 / 副プロジェクトリーダー (iCONMコミュニケーションマネジャー)



←要旨集



←登録サイト